

行政報告

令和5年第2回定例会

ふるさと鹿角応援寄附件数・金額ともに増加 4月の新クリニック開院に期待 大雨災害に対する早期復旧への取り組み

令和5年第2回鹿角市議会定例会が2月24日から3月20日までの会期で開かれました。市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■透明で活力ある市政の実現

官製談合の再発防止のため、第三者委員会や議会からの提言を踏まえ、入札監視委員会を立ち上げ、入札の透明性と公正性の確保に取り組んでいます。また、かづの観光物産公社の経理状況について、調査・分析を行い、改善策などを提示して経営改善の取り組みを促しています。

■ふるさと鹿角応援寄附

2月17日現在で、寄附件数は2万470件、金額では3億1354万1876円で、前年同期と比較し、42%増と大幅に増加しています。返礼品では、米やアップルパイ、鹿角ホルモンなどが人気で、今年度か

ら始めた定期便やバリエーションの充実に加え、テレビの全国放送の反響が大きかったことも寄附の増加につながったと捉えています。引き続き、本市が誇る特産品の魅力を最大限に伝え、より多くの方々から応援いただけるよう取り組んでいきます。

■地域医療の充実

12月に、医療の現状と今後の展望についてかづの厚生病院と話し合いを行ったほか、2月には、鹿角の医療関係者と医療懇談会を開催し、鹿角の医療の現状と課題について情報共有しています。4月に開院予定のクリニックには、関係者のご尽力により、小児科、内科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科の4つの診療科

が開設されることになり、地域の医療環境の充実につながるものと大いに期待しています。

■令和4年産主食用米の作付け状況

作付面積は「生産の目安」である1991ヘクタールに対して、1915ヘクタールとなり、生産の目安を達成しました。本市全体の収穫量は、1万200トンと公表されています。

令和5年産米の「生産の目安」については、鹿角地域農業再生協議会において、全国的な米の需要に加え、在庫の動向や秋田県産米のシェア率などを勘案し、引き続き飼料用米などへの作付転換によって需給バランスを保つこととし、県の方針に沿って令和4年産米の作付実績

と同じ1915ヘクタールと定め、JAなどに提示しています。

■農地・農業用施設と林道施設の災害復旧

国の査定が12月15日に終了し、農地・農業用施設は54カ所で査定額3億8153万7千円、林道施設は1カ所で査定額640万2千円となり、全体の査定率は98.9%でした。年度内の完成が困難なものは、次年度へ繰り越して実施することになります。管理団体や関係機関などと調整を図りながら、早期の復旧に向けて取り組みます。

■森林経営管理制度

令和3年度から鹿角森林組

0.33ポイント上昇しています。

新規求人、建設業、医療・福祉などを中心に増加しているものの、新規求職者数は減少傾向にあり、有効求人倍率は7月から6カ月連続で2倍を超え、人手不足が続いています。

■エネルギー施策の推進

地球温暖化対策推進法に基づく「鹿角市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の素案を取りまとめ、パブリックコメントを募集したところ、8人の方から34件の意見が寄せられました。いただいた意見を踏まえて計画案を整え、3月に計画を策定しました。

■公共土木施設の災害復旧

国の査定が12月1日に終了し、市道は8カ所で査定額1億2956万6千円、河川は7カ所で査定額9896万3千円となり、全体の査定率は99.4%でした。全ての復旧工事を次年度へ繰り越すこととなりますが、早期の復旧に向け、工事発注などを進めています。

■有害鳥獣被害防止対策

今年度のクマの目撃件数は125件で、このうち農業被害は44件、78万7千円でした。市街地での出没が頻発したため、警察や関係機関などと連携して対応しています。

捕獲については、全県における有害鳥獣の捕獲頭数枠の拡大を踏まえ、さらなる被害を防止するため、延べ77基の箱なわを設置し、77頭を捕獲しました。

また、捕獲活動の中心となる鳥獣被害対策実施隊員の負担軽減のため、47人の鳥獣被害対策推進員が捕獲活動や被害防止対策を行いました。

市内では、ツキノワグマのは

■鹿角市二十歳のつどい

1月8日に、文化の杜交流館コモッセで、20歳から21歳の対象者267人のうち、177人が出席し、二十歳のつどいを開催しました。対象者で組織した二十歳のつどい実行委員会が、準備から当日の運営までを行いました。また、当日はオンライン配信も行い、一般の方を含め281人の方が視聴しました。今後も、未来を担う若い世代が親交を深め、ふるさとの魅力を感じられる機会を創出していきます。

■スポーツによる交流人口の拡大

第96回全日本学生スキー選手権大会は、多くの関係者の協力により、2月23日から26日までの日程で開催しました。今大会は感染対策を講じたうえで、有観客で開催し、大学生スキー最高峰の大会で熱戦が繰り広げられました。

総務課 行政班 ☎30・0203



行政報告を行う関市長



4月に開院予定のかづのファミリークリニック（3月22日時点）



主食用米の作付け状況



鹿角プレミアムツアー



鹿角市二十歳のつどい



第96回全日本学生スキー選手権大会